

燃焼性試験器 (垂直型) CS-1SZ

* 坂本和維



■概要

国土交通省航空局航空機安全課監修の耐空性審査要領付録 F に準拠した垂直・45°・60°の燃焼性試験を行うことができます。各角度に固定した試験片をそれぞれの規定バーナによる炎で一定時間接炎し、加熱時間、残炎時間、残じん時間、滴下物の炎上時間、燃焼長さ、炎が試験片を突き抜けるかどうか等を評価します。



垂直試験



45°試験



60°試験

■特長

1. バーナと試験片取り付け場所を替えるだけで、1台の試験器にて垂直・45°・60°試験を行えます。
2. バーナの発火、試験片への接炎から加熱・残炎・残じん時間測定までの工程を試験器本体正面の制御パネルで操作が出来るため、安全かつ容易に再現性のよい試験を行えます。
3. 燃焼箱や試料ホルダは、耐食性のあるステンレス (SUS304) を採用。

■仕様

接炎角度	垂直	45°	60°
接炎時間	60 秒 (材料によっては 12 秒)	30 秒	30 秒
炎高さ (炎高さゲージで調整)	3.8cm	3.8cm	7.6cm
バーナ	垂直用バーナ	フンゼンバーナ + 45° 用バーナ口	フンゼンバーナ + 60° 用バーナ口
燃焼箱	ステンレス(SUS304)製		
試料ホルダ	ステンレス(SUS304)製		
制御盤	加熱時間計、残炎時間計、残じん時間計など		
本体寸法	約幅 83×奥行 37×高さ 85cm		
電気容量	単相 100V 40VA		

* 日高・川越工場 耐候課